



発行日：平成29年08月31日

残暑の厳しい時期になります

朝晩と日中の温度差が大きい季節になりました。脱ぎ着しやすい服装で、衣服の調節にも気を配りたいですね。

今年の夏はうだるような暑さで始まったと思ったら一転、8月に入ると天候不順で雨降りが多く、体調を崩す子どもが各クラスにみられました。手足口病や溶連菌感染症という診断を受けた子どももいましたが、ほとんどは夏風邪、ということが多かったようです。夏の疲れが出てくる頃です。基本的な生活リズムを見直して、元気にこの時期を乗り切りましょう。



9月9日は救急の日！

突然起こるけがや事故に備えて、救急箱の中身を点検しておきましょう。

救急箱に入れておくと安心！

衛生器具…体温計、とげ抜き、爪切り、ハサミ、ピンセット

衛生材料…滅菌ガーゼ、傷絆創膏、包帯、綿棒

薬類…消毒薬、冷却シート、虫刺されの軟膏など

食生活リズムと子どもの育ち “なんでも食べられる子ども”に！

脳細胞を作るには、良質のたんぱく質と脂肪が必要です。そしてエネルギーとして使われるのは、ブドウ糖だけです。そのブドウ糖は朝食で食べたでんぷんでとったものが、最も大量に使われていると言われています。1日の活動を保障してくれる朝食はたっぷり食べさせたいですね。

また最近「軟らかく食べやすい」食品が多くなっていますが、これらの食品ばかり食べていると栄養のバランスが悪くなり、発育に影響をきたしたり、顎の育ちが悪くなり、咀嚼に影響をきたすともいわれます。咀嚼力が育たないと、言葉の発達にも影響するという話もあります。

「よく噛んで、何でも食べられる子ども」に育てたいですね。



子どもの事故を予防しましょう

子どもの低い目線に合わせて、家の中を点検してみましょう。床に小さなものが落ちていることはありませんか？

- 薬や洗剤、タバコなどの出しっ放しや子供の手の届く所に置いていませんか？
- ポットや炊飯器は子供の手の届く所に置いていませんか？
- ベランダに踏み台になる物を置いていませんか？
- 刃物類は子供の手の触れない所にしまっていますか？
- 食べ物を食べさせながら遊ばないようにしていますか？
(食べ物を詰まらせることがあるため)
- 浴室は子どもがひとりで勝手に入れないようにしていますか？
- コンセントはコンセントガードなどでいたずらができないようにしていますか？

家庭内で事故を防ぐためにも日頃から身の回りをチェックしておきましょう。

9月の保健行事

6日(木)乳児検診・身体測定

